

【別紙】分担研究プロジェクト概要

1. 背景

医療従事者と患者のSDM(共有意思決定)が成り立つ社会の実現に向けて、政策立案者や医療従事者等からなる「患者の望みを支える患者主体の医療実現のための研究会」*が発足し、制度上の仕組みの提言等がされている。がんの三大医療は手術、薬物、放射線治療である中で、状況により様々な選択肢があることを説明し、がん患者が適切で自身が望む治療を受療する機会損失にならないようにSDMを社会に普及させたい。SDM実施にあたり、現在の診療体制状況を基に問題点から遡及解析を行い、実現に向けた提言を行う。

2. プロセスとタイムライン

フェーズⅠ (オンラインによるインタビュー)

がん診療連携拠点病院でSDM実施に関する体制構築の実態と問題点を把握することを目的とする。前立腺がんを中心に、病院としての方針・がん医療提供体制について着目したインタビューを実施する。ベストプラクティスを実現している施設の運用状況を考察し、他施設で施行出来る取り組みを学び、フェーズⅡで実施するアンケート項目に反映する。

フェーズⅡ (オンラインによるアンケート調査)

前立腺に絞って、放射線腫瘍医と泌尿器科医にそれぞれに調査を実施し、SDMを実施する上での現状と課題を把握することを目的とする。

研究デザイン

- ①ベストプラクティスモデルの調査 (3施設へインタビュー)
- ②がん診療連携拠点病院 451施設 (令和3年8月時点) へのアンケートを実施
- ③アンケート結果を基に実施状況と課題を解析

時期	対応内容
1 3月中	前立腺がんを中心に医療提供体制の状況をインタビュー結果をベストプラクティスモデルとして整理
2 3月中	インタビュー結果を基にアンケート内容を確定
3 4月～5月	がん拠点連携病院451施設へJASTROを通じ匿名化アンケートを施行 ベストプラクティスと比較して達成できていない障害の聴き取りが目的 アンケート宛先は放射線腫瘍医 泌尿器科医
4 6月～7月初旬	アンケート内容解析と考察のまとめ (報告書)
5 7月中	がん拠点の要件見直し項目への提言を目標とする

3. ご回答いただいた内容の利用について

- 厚労科研大西班の研究成果報告書に反映
 - 「がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキング」で議論されているがん診療連携拠点病院等の整備に関する指針の改定に反映していただくよう要望書に反映
- ※ 解析した結果は、関連学会での報告等に公益に資する目的に限り、利用させていただくことがございます

【アンケート内容・要旨】

エビデンスベースによる診療体制

- ① 診療体制全般のご質問（治療方針の提示状況など）
- ② キャンサーボードの実施状況（実施状況と問題点）
- ③ 情報連携の為の工夫（IT ツールの利活用など）

ナラティブベースによる診療体制

- ① SDM 取り組みについて（ヒアリング行為など）
- ② がん医療における看護師の関わり（説明補助対応）
- ③ 患者への情報提供（がん治療法など）

以 上